WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報

No.61　June 10, 2017

ジョークの心得三か条： 1.　ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
2.　ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
3.　ジョークは簡潔が至上です。

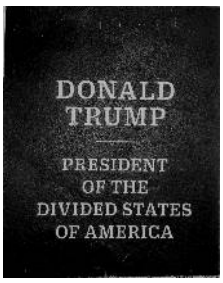
第 61 回研究発表会

Goodbye to Headline Jokes

草野　淳

センスのいいジョークをきかした英字新聞や英文雑誌の見出しを拾い集めて紹介してきた「Headline Jokes～ジャーナリズムのみだしなみ～」。遊び心で始めて 4 回目ともなると新味も鮮度も落ちるようで自信が無かった。ところがたまたま昨年暮れ、米誌 TIME のなんとも滑稽な表紙に出会い、おもわず吹き出してしまった。

DONALD TRUMP－President of The Divided States of America　言動の破天荒な新大統領の誕生でアメリカは United States でなく Divided States（国家の分裂）に、と実に辛辣な切り口ではないか。



こういうのに出っ食わすと俄然勇気がわいた。コツコツ拾い出しては“冷凍保存”しておいたものを解凍し、検討してみると大丈夫、まだ賞味期限は切れていなかった。例会で発表させていただいた例題の中から、特にユーモア度の高い傑作例をここに改めて並べてみると：

Step to right, and you've left the country.
オランダとベルギーの国境にまたがって建っている、とある小さなビール・バーの話を興味たっぷりに書いた記事に付けられた見出しがこれだ。「店に入って右にちょっと行ったらもう国を出ちまいますよ」というわけ。right, left に leave の left を引っ掛けた言葉の遊びである。アムステルダム南の村にあるこの店ではレジも両国別々。看板になっても別のテーブルに移れば、時差を利用してもう一杯ねばっていけるとか。

着飾った和服姿の美女達の華やかなカラー写真に付けた見出しの文句は Hair today, hung over tomorrow・・・「きょうは髪型に気を遣っていても、あしたになれば二日酔い」と、今風な女の子達の風潮をちょっぴり皮肉った。これには Here today. Gone tomorrow という言い習わした対句があるのだ。この一言で流れ者の暮しぶりも表せるし、明日の身の定かならぬ人生の儚さをうったえることもできる。ジョークの世界では、老いて頭が薄くなっていく様をからかうのにも重宝されている。

人口過密都市、香港の住宅事情の記事には In Hong Kong, apartments that only a pigeon could love.「狭いウサギ小屋ならぬ鳩の巣」鳩だから live でなく love としたあたりも憎い言葉選びだ。

何事も芸が細かくサービス精神旺盛なニッポン人のやること、今年のバレンタインデーにはカップル達への粋な計らいでハート型のつり革を用意した電車がお目見えした。その写真記事を載せたある日本の英字新聞は Love Handles との見出しタイトル。「恋のつり革」とさり気なく洒落ているように見せているが、本当のところこの言葉、相当にエロチックなセックス絡みのきわどい表現なのである。

ミャンマーの民主化を評価した英誌のヘッドラインは Still the generals' election「相変わらず将軍達＝軍の影響力が根強い総選挙＝general election」とひねったところは、同国の民主化リーダー、スー・チー女史も苦笑させられることだろう。

いつものように記事の見出しには、ポピュラー・ソングのよく知られた歌詞の一部や、映画の題名、CM のせりふなどを引用した遊びも少なくない。ロシアへ行くにはビザを必ずとっておくべし、との旅行アドバイス記事にアメリカの新聞の見出しは、Your Russian Visa: Don't Leave Home Without It. Visa からクレジットカードの VISA を連想させ、それならば、とそこでさらに AMEX (American Express)の聞き慣らされた CM「出かけるときは忘れずに」と、これはまたスマートな仕上げ方。

トランプ批判のコラムにはずばり All the president's lies の見出し。ウォーターゲートの映画「All the president's men」をもじっている。

サンフランシスコで子供の人口が激減しているという話の記事には、San Francisco is asking: Where have all the children (=flowers) gone? あの懐かしい歌声が聞こえてくるようだ。

戦場から工場、整形外科クリニックまで様々な場で身体の動きを補強する機具を体中に取り付けた新技術開発の紹介記事のヘッドラインには、ベトナム戦争映画のタイトル Full metal jacket をもってきたところが見事ぴったり。

フィリピン大統領の名前 Duterte が dirty と似通って発音されることから、その手荒な麻薬犯罪退治ぶりを The Dangers of Duterte Harry と風刺してクリント・イーストウッド演ずる「刑事ダーティー・ハリー」になぞらえた。

語呂を合わせただけの駄洒落っぽい出来の中にも光る作がある。中国の若い人たちの間の教育格差の実態には glass ceiling ではなく class ceiling、イギリスの地方都市に精子バンクがオープンして精子のドナー不足がかなり解消した、という話には Nice to gam-

ete you. 精子(sperm) には gamete という言い方もあるので、Nice to go meet you にも耳には聞こえるから、なかなか気がきいているではないか。

当世流行の自撮りセルフィーを selfie stick: useful or narcissi-stick?「便利、それともナルシスティク（ナルシスト的）なのか？」とちゃかす。「ナルシスティック」をセルフィーの自撮り用具 stick に引っ掛けているわけだ。

受験地獄の韓国、勝ち残れるのは、cram（詰め込みガリ勉塾）で上位の部に入れた者だけだから、それをフランス風に洒落て The creme de la cram.

新しがりやの土地柄カリフォルニアに犬のレストランができた。骨付きが大好物のワンちゃん達のことだから Dogs in restaurants: Bone appétit.　とこれもフランス・グルメの香りをつけた小気味なジョーク。

最後になったが、発表当日では今回、『笑いよりも味』の、ハイ・センスで上質な headline を重視し、その部類に入る幾つかを前段に持ってきて話をさせていただいた。そもそも、ゲラゲラ人を笑わせるために仕組まれた “ジョークのためのジョーク” の類いは早晩、食傷気味にさせられるものだ。なーるほど、フーンそうか、とじんわり湧いてくる奥の深いユーモアにこそ飽きは来ない。

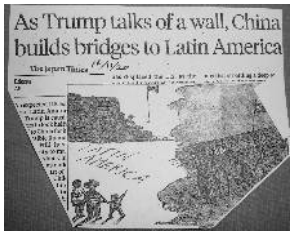
Twilight of the Evening Stars.　これはアメリカ TV 界の花形キャスターが二人揃って降ろされることになった話の米誌 TIME の記事に付けられた見出し。晩の人気番組だったから文字通り evening stars（宵の明星）であり、華やかな舞台を去る身となった今はまさに人生の黄昏(twilight) なのだ。こういう哀切の感もまた、レベルの高いユーモアに要求される要素の一つというべきだろう。

健康ライフのアドバイス記事に　A little walking can go a long way.　毎朝 1 時間のウォーキングより、座っての仕事中 30 分ごとに 5 分でもいいからちょこちょこ歩く方がずっと効果的という専門家の意見に、これはまたなんとも見事に決まっているキャッチフレーズ。

韓国のインチキ美容整形でひどい顔にされてしまった中国女性達の悔恨と怒りを、The ugly truth about S. Korea's face-lift industry: regret and fury in China. 整形美容に ugly という語をからませて生々しく迫ってくる描写だ。

デジタル化で車のバックミラーも要らなくなる。ドライバーの席のそばの液晶画面に車の後ろの情況が映し出されるからだ。Mirrorless cars a reflection of the auto industry's future とか　End of the road may come soon for side mirrors など、いずれも鏡や車にちなんでひとひねりした言葉を工夫している。

こいつは絶妙だ、と感心させられたのは　As Trump talks of a wall, China builds bridges to Latin America　「トランプ大統領がメキシコとの国境に不法移民流入を防ぐ壁を構築しようと吠えているのを尻目に中国は、着々と中南米への経済進出を図っている」壁と橋の対語が妙を得て冴えている。いずれも声を出して笑い合うようなジョークとは異なる種類のものだが、よく噛みしめて味わうと、このうえなく豊かなユーモア精神の清涼感に心洗われる思いだ。



それにしても、ここまでなんとか体裁を揃えるには 2 年越し､20 回近くの図書館通いで膨大な英文雑誌のバックナンバーと奮闘、同時に自宅で毎朝欠かさず目を通す英字紙―そんな日々が続いた。魚釣りと同じで、図書館に足を運んでも 1 匹も釣れない日もあった。また新聞というやつは、読むのを 1 日でも欠かすと、大きな獲物を取り逃すことになりかねないので、常に気を抜けない。

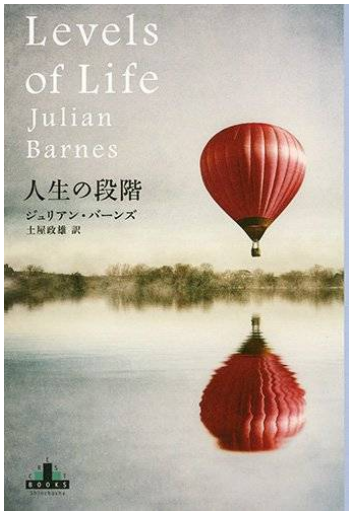
80 歳を目前にすると、目先の単発ものとは違って、この先 1 年、2 年とそうした長期の持続的エネルギーへの気力、体調ともにいささかの不安を覚えるようにもなった。そんなわけで今回のタイトルには、このあたりを潮時に勝手ながら“Goodbye to～” と付けさせていただいた次第である。

この次は、アメリカかイギリスのメディアかどこかが ”Headline Jokes' Contest”でも開催して、トランプ節で “You're fired！ You're hired!” と大いに笑わせてくれないものだろうか？　あてどのない夢のようだが楽しみにしている。

会員新刊

ジュリアン･バーンズ著
土屋政雄訳
『人生の段階』

（新潮クレストブックス） 1,728 円



誰かが死んだことは、その存在が消えることまでは意味しない――。最愛の妻を亡くした作家の思索と回想。気球乗りは空の高みを目指す。恋人たちは地上で愛しあう。そして、ひとつに結ばれた二人が一人になったとき、遺された者はもう生の深さを感じられない。――有能な著作権エージェントにして最愛の妻だったバッド・ガバナをとつぜん喪ったバーンズは、その痛みに満ちた日々をどのように生きたのか。胸を打つメモワール。

（Amazon の内容紹介より）

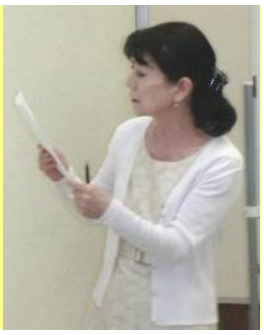
バックナンバーをお届けします

JLC の HP は本年 3 月をもって廃止されましたが､中身をコピーした USB が事務局に保管されています。
ご希望の方はお申し出ください。

第 36 回ジョーク・コンテスト

MC の記

吉川　裕子



今回、初めて MC を担当させていただきました。

一度読んだだけではなかなか笑いのツボが理解できずに、どのように進行していったらよいのかとても悩ましかったのですが、みなさまの深い知識に助けられ､｢そういうことだったのか‼｣と腑に落ちたり、ダブルミーニングを発見して作品の奥深さに気づかされたりと、楽しい経験となりました。

今回は合計 18 点の応募があり､2 回の投票を合算した結果、11 票もの得票で＃10 岡田氏のビキニのジョークが 1 位に輝きました。

でも、じつは、私はこのジョークに疑問を感じているのですよ。

今、貴男は添付のグラマラスな美女のどこを見ているのでしょう。正直に。

第 2 位は 10 票で＃ 7 小池氏のジョーク。これは双方の立場での解釈の違いが。夫側の解釈で妻が生きているから天国じゃないというジョークになりましたが、妻側からの解釈は身の毛もよだつジョークになるかも―説明はいらないかと思ったのですが、私なりの解釈を一応。

（妻「ここ天国？（夫が死んだかも。せいせいするわ)」夫「僕はまだ君と一緒だよ。(地獄がごときこの俺は、お前を決して離すまい」)

同じく第 2 位に＃15 服部氏のうぬぼれの罪の小話。キリストの七つの大罪に基づいたジョークとは、さすが奥深いですね。

さて今気づいたのですが＃11 田上氏も同点ですね。夫にとって妻が最高なのか最悪なのか秘めたる思いはどちらにもとれるけど、妻は無邪気にハッピー。巧妙なおかしみを感じました。

大波賞を取った真由美さんの作品＃14 は実は私が一番好きなジョークでした。短い言葉に一人の男性の人生が詰まっていて想像が膨らみました。その日の夜、なんの脈絡もなく突然、きめ文句は He's expired.だ！ なんて閃いて飛び起きたのも尾を引いていたからでしょう。

最後に全体の感想なんですけど､本当に正直に言わせていただきますね｡どなたも感情を損ねたり、活力をなくしたりなさいませんよう。

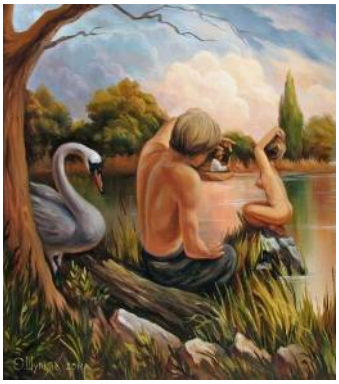
今回は比較的少なかったとは言え､やはり男性はセクシージョークがお好きですね。サガなのでしょうね。でもそういう場に居合わせると女性は身が縮む思いをするのですよ。まるで公然に哀れな我が身が晒されているようないたたまれなさを覚えるのです。男性も立場を逆に考えてみてくださいね。

それ抜きでもおかしくて悲しくて怖くって笑っちゃう出来事はそこここに満ち溢れていますね、もちろん‼

さて、次回もいっぱい笑いあいましょう。

✤ ✤ ✤ ✤ ✤ ✤ ✤ ✤ ✤

TROMPE L'OEIL



第 62 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：**2017 年 7 月 15 日（土）**
  14：00～16：00
- 会場：**日本近代文学館**（2 階会議室）
  （東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内）
  電話：03-3468-4181
- 交通：京王井の頭線「駒場東大前」駅（渋谷駅から二つ目）下車徒歩約 7 分。地図は、「日本近代文学館」の HP でご検索ください。
- プログラム
  総合司会＝安藤雅彦会員
  ① 研究発表
  「アルファベットのジョーク」
  豊田一男会員
  ② 第 37 回ジョーク・コンテスト
  MC=田上悦子会員
- **参加費**：会員・非会員とも 1,000 円
- **連絡先**：englishjokers@yahoo.co.jp

第 37 回ジョーク・コンテスト出題募集

1. 語数は、**30 WORDS** を上限とします。
2. ご出題はお一人一題までとします。
3. 出品されるジョークは、かならずしも自作のものである必要はありません。

- 宛先：englishjokers@yahoo.co.jp
- 締め切り：**2017 年 7 月 2 日(日)**

WE, JOKERS　No.61
英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報
発行日：2017 年 6 月 10 日
発行人：世話人代表　宮本倫好
編集人：佐川光徳
連絡先：englishjokers@yahoo. co.jp